

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	地域のニーズに応じたバス・タクシー車両の開発		担当部局	自動車局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度/平成22年度		担当課室	総務課企画室		室長 村田 茂樹	
会計区分	一般会計		施策名	2(3)総合的なバリアフリー化を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第4条		関係する計画、通知等	移動等円滑化の促進に関する基本方針			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本格的な高齢化社会を迎え、高齢者・障害者等の円滑な移動手段としてバス・タクシーの重要性が高まっている中、低コストで、乗降及び立着席しやすいなど、高齢者・障害者等に優しい車両の開発・普及が喫緊の課題となっている。このため、地域のニーズに応じ、低コストのバリアフリー車両の実現を図るべく、利用者、交通事業者、自動車メーカー等と連携し、車両の開発及び新たな標準仕様の策定を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	高齢者・障害者団体、バス・タクシー事業者、自動車メーカー、有識者等の関係者による検討会を設置し、以下を実施する。 ・ノンステップバス、マイクロバス、リムジンバス、乗合タクシー、一般タクシーに関し地域・輸送形態に応じた高齢者・障害者等のニーズをアンケート調査等により把握 ・これらのニーズに加え、車両開発に係る技術的課題やコスト等も踏まえ、普及すべき高齢者・障害者等に優しい車両イメージを検討し、車両イメージに基づきモックアップや車両を試作 ・試作車両等について高齢者・障害者等の公共交通利用者や、バス・タクシー事業者による評価を実施し車両イメージの改善を図り、標準仕様を策定。						
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他		
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
	予算の状況	当初予算	59	52	49	-	-
		補正予算	8	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	45	-
	計		51	52	49	45	-
	執行額		50	46	0	-	-
執行率(%)		98.8%	87.7%	0.7%	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (22年度)
	ノンステップバス車両の導入割合及び福祉タクシーの導入数 (成果実績は左がノンステップバスの割合、右が福祉タクシーの導入数)		成果実績	23.0%/10742台	25.8%/11165台	-	30%/18000台
		達成度	%	76.7%/59.7%	86%/62%	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	次期ノンステップバス並びに乗合タクシー及びユニバーサルデザインタクシーの標準仕様の策定数		活動実績 (当初見込み)			(3)	(3)
単位当たりコスト	実績なし(東日本大震災の影響により、23年度へ請負費を全額繰越のため)		算出根拠				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	計	-	-				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	【評価できない】 本事業は、東日本大震災に伴い23年度へ全額繰越を行い、引き続き事業の遂行中であることから本評価欄は記載していない。 なお、23年度においても、効率的かつ効果的な検証等を行い事業の遂行を進める予定。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	【評価できない】 本事業は、東日本大震災に伴い23年度へ全額繰越を行い、引き続き事業の遂行中であることから本評価欄は記載していない。 なお、23年度においても、効率的かつ効果的な検証等を行い事業の遂行を進める予定。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 昨年の「予算監視・効率化チームの所見」において、「事業廃止」 平成22年度の標準仕様の策定により、当初の目的は達成されると認められることから、本事業は平成23年度に廃止することとする。とされたことを踏まえ、本事業は平成22年度限りで廃止した。</p> <p>ただし、本事業は、東日本大震災に伴い、22年度内での事業完了が困難となったことから、23年度へ請負費を全額繰越を行ったものである。23年度においても引き続き、効率的かつ効果的な検証等を行い事業の遂行を進める予定である。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
廃止		平成22年度行政事業レビュー結果を踏まえ、事業廃止とするが、東日本大震災に伴い、平成23年度へ全額繰越を行ったことから、平成23年度においても、効率的かつ効果的な検証等を行い事業の遂行を進めるべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					